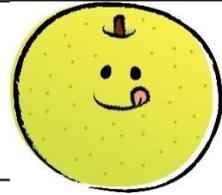


のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）
TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367
〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com
<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

のだネット 平成27年度 運営委員会報告

平成27年8月17日、野田健康福祉センターにて「のだネット運営委員会」が開催されました。運営委員である関係機関の皆様、のだネットの事業報告と事業計画、グループホーム等支援ワーカーからの事業報告と事業計画をお伝えした。のだネットも10年を超えて、事業にはご理解とご協力を頂いていることに改めて感謝するところです。

（記：五十嵐）

発達障がい者サポーター研修会報告

9月4日（金）中央公民館講堂にて開催。千葉県発達障害者支援センターCAS副センター長の田熊立氏より「幼児期及び児童期の発達障がいの特性・対応」をテーマにお話いただきました。当日教育関係、保育関係、福祉関係、医療関係、保護者の方々など104名の参加がありました。

11月9日（月）には同じく田熊氏より「思春期及び青年期の発達障がいの特性・対応」を話していただきます。すでに定員はいっぱいですが資料だけでもという方がいましたらお声かけ下さい。（記：五十嵐）

野田市自立支援協議会 子ども部会報告

10月13日（火）保健センター3階の会議室にて開催されました。

◇こども支援室より

平成27年10月1日から保健センター4階に子ども支援室が開設されました。こども支援室は妊娠中から18歳未満のお子さんのあらゆる相談をお受けし、必要に応じて関係機関の皆様との連携を図りご協力をいただきながら、継続的な支援を行います。どうぞよろしくお願い致します。

※妊娠届・母子健康手帳交付窓口が変わります。

交付場所は子ども支援室（保健センター）と関宿保健センターです。

※子育て支援総合コーディネート事業も子育て支援室に移転します。

◇支援機関の紹介

今回は「アンディとティアラ」について説明して頂きました。

野田市清水で児童発達支援と放課後等デイサービスを行っています。

室内ではクッキング、クラフト、壁画作成を中心に、お天気の良い日は公園などで体力づくりをしています。

◇差別解消法について

※次ページの就労支援部会の記事参照。

（記：五十嵐）

野田市自立支援協議会 就労部会報告

10月7日(水)保健センター4階の会議室にて、野田市地域自立支援協議会長・加藤満子氏がオブザーバーとして出席のもと開催された。

部会長は障害者就業・生活支援センターは一とふる・柄澤隆一センター長が就任しており、諸事情で不在となっていた副部長に指定多機能型事業所つばさ所長・戸場氏が互選され「共に学んでいきたい」と、ご挨拶がありました。

1) 第1回より二か所ずつの事業所紹介が行われており、今回は平成元年4月に定員10名で開所した「関宿心身障がい者福祉作業所」と平成16年10月に受託した「中核センターのだネット」でした。

①「関宿心身障がい者福祉作業所」は平成19年「社会福祉法人は一とふる」が指定管理者として管理運営、知的障がい、身体障がい、自閉症スペクトラム(ADHD含む)を主な障がいとする方(定員17名)が利用している。

日中活動では下請作業・縫製作業に取り組み、作品のカード入れ・鞆等は市内三カ所の「ふれあい喫茶つくしんぼ」で販売されている。

近々では11月14日(土)、のだとくフェスタに出店されます。和服地で作られた作品等を是非、手に取ってご覧ください。

基本方針は「職員よし 利用者よし 地域よし(三方よし)」、「個別支援」、「エビデンスに基づいた支援」、「共生社会の実現」です。

私が担当している利用者さんの様子伺いに、数年ぶりに作業所を訪問した際、落ち着いた静かな環境の中で「個別支援」、「エビデンスに基づいた支援」(科学的根拠・データによって客観的に証明されたもの)が実践されていると感じました。

②「中核地域生活支援センターのだネット」の日頃の活動状況及び、ここ数年増加している「高齢になった親が倒れ、障がいを抱えた子(50才代)との生活が困難になり、施設・グループホームを探すケース」の紹介をし、緊急保護、手帳・年金の申請や福祉サービスに繋げるための受診同行等、直接支援の状況を報告しました。

2) 「障がい者の雇用の促進等に関する法律」を改正 平成28年4月1日から施行

「雇用の分野で 障害者に対する差別が禁止され、合理的配慮の提供が義務となります。」

Point1...障がい者であることを理由とした障害のない人との不当な差別的な取り扱いが禁止されます。

Point2...障がい者に対する合理的配慮の提供が義務となります。 Point3...障がい者からの相談に対応する体制の整備が義務となります。障がい者からの苦情を自主的に解決することが努力義務となります。

「合理的配慮」は個々の事情がある障がい者と事業主との相互理解の中で提供されるべきものです。「過剰な負担」にならない範囲で事業主に講じていただくものであり、合理的配慮の提供義務については、事業主に対して「過剰な負担」を及ぼすこととなる場合は除くこととしています。

対象となる障がい者は、「障がい者手帳を持っている方に限定されません。」

「身体障がい、知的障がい、精神障がい(発達障がいを含む) その他の心身の機能に障がいがあるため、長期にわたり職業生活に相当の制限を受け、または職業生活を営むことが著しく困難な方が対象となります。」

相談は事業主の設置した相談窓口へ、話し合いによる自主的な解決が難しい場合、援助が得られない場合は、都道府県労働局に相談できます。

(厚生労働省・都道府県労働局・ハローワークの事業主方へ...より一部抜粋) (記:金城)



ゆったりカフェのお知らせ

障がいの種別は問わず、ふらっと遊びに来れる場を企画しました♪申込は不要です。

7月は絵手紙を描きました。野菜などを題材にして皆さんおいしそうに描かれてました♪
8月はゲーム大会で、五十嵐考案の平仮名カードで言葉をつなぐゲームやトランプなどで楽しみました。

9月は茶話会で4名と少人数でしたが、その分色々とお話した気がします。

10月は「産業祭を楽しむ会」としていましたが予定していた日程が産業祭とずれた為、調理実習としてホットケーキを皆で作りました。生クリームや果物でトッピングを工夫してどなたのホットケーキも見た目も綺麗においしく出来上がりました♪

次回の予定

11月8日(日) バトミントン 13時～中央公民館ロビー集合

※上履き持参。動きやすい服装。

12月13日(日) クリスマス会 13時～野田市中央公民館 参加費300円

(問い合わせはのだネットまで)

趣味の部屋



作者からのコメント

布草履は現在進行中。もう少し工夫して上達したい。
詩は小学校の時に「ゴミ箱」というタイトルで作ったことがあったが15～16年経って入院中に再び書き始めた。「理論」「ことわざ」「詩」を掛け合いで作る方法を思いつき作業所で友人と共同で作成している。

(Ryo Matsudo)



手作りの布草履



線 俗 平 百 角 や 円 特 結 線 円 直 出 三 円 動 点 三
称 ら 八 度 が が 周 殊 ぶ と の 角 来 角 の く 角
な な 十 が て を な ど 円 の 中 上 形 中 形
度 度 ない 水 平 ム 九 こ ま の 一 通 形
に 平 ー ヴ し 十 度 描 く 直 角
く 角

自作の詩

自分の作品を見てもらいたいと言う方！作品はいつでも受け付けていますのでのだネットまでご連絡下さい！

(担当 五十嵐)

お知らせ

□悩みながら豊かに生きるために！パート3

日 時：平成27年11月28日(金)13:30～15:30

会 場：野田市総合福祉会館 第3会議室(旧NPOサポートセンター)

定 員：80名 参加費：無料

内 容：シンポジウム「心の病を抱えながら、地域での暮らし方、いろいろ...」

参加者 グループホームで、暮らしている方
一人で、アパート暮らしをしている方
家族と一緒に、暮らしている方

コメンテーター 坂本 泰啓氏(千葉県野田健康福祉センター センター長)

お問合せ先：中核地域生活支援センターのだネット

TEL:04-7127-5366/FAX:04-7127-5367

※11月20日(土)までに、お申込み下さい。

◆.....◆ □心の健康フェアinちば2015「あなたらしく わたしらしく」

日 時：平成27年11月25日(水)10:00～15:00

会 場：青葉の森公園 芸術文化ホール

入場無料・申込み不要・一部手話通訳あり

プログラム 午前 作品展示・心の健康相談コーナー・講演「統合失調症について」講師：石川真紀氏・
当事者からのメッセージ(11時半～)「私の{自分らしさ}イチ押しメッセージ」

午後 表彰・コント&トークショー「統合失調症がやってきた」松本ハウス

主催：NPO法人 千葉県精神保健福祉協議会／千葉県

後援：千葉県教育委員会／千葉県社会福祉協議会

お問合せ：心の健康フェア実行委員会もしくは千葉県精神保健福祉協議会

(精神保健福祉センター内)TEL:080-7000-2093
◆.....◆

□第22回障害者週間の集い

「心の病を広く知ってもらおう」～精神障害者への偏見・差別を無くすために～

日 時：平成27年12月8日(火)13:00～16:30

会 場：千葉市生涯学習センター・ホール<入場無料>

第1部 基調講演「家族・当事者・精神科医の『三位一体』の私から、お伝えしたいこと」

講師：夏刈 郁子先生 (やきべつの径診療所 児童精神科医)

第2部 シンポジウム「家族が望む精神科治療！」

(発言者) 家族 (コメンテーター) 夏刈 郁子先生

問合せ先：NPO法人千葉県精神障害者家族会連合会事務局 TEL043-306-9151

編集後記 お休みの日に公民館の講座で4月から9月まで月1回「コーチング」の講座を受けました。話を聞く態度から質問の選び方、自分が人からどう見えるのか気づかされたり、ためになることが多い講座でしたが、何より色々な方が参加されていて、お話しできたことが貴重な体験でした。
(五十嵐)

